

フォトライフ

# 四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1  
☎045-476-0777  
平成11年3月1日発行  
季刊第28号  
キタムラホームページ  
<http://www.kitamura.co.jp>



vol.28  
SPRING

特集 写真家・三好和義氏

写真に心を写し出し、  
自分自身の心の旅をたどる。

田中長徳氏執筆 カメラはライカ 第2回

保存版 レンズ特集

〈福島県郡山の桜〉バックの芽吹きと桜の色のコントラストをねらった。しだれ桜とソメイヨシノが重なってにぎやかだ。苔むした幹を真ん中に構成して画面をひきしめた。曇りの日に撮影。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f 32 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：プロビア 〈撮影〉三好和義氏



フォトライフ  
**四季**

CONTENTS  
Vol. 28  
SPRING



〈山梨県武川神社神代桜の横の桜〉雨の日に撮影。絞りを開けてバックをぼかした。黒い幹と枝の重なりを考慮して構図を決める。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f11.5  
シャッタースピード：1/15秒 フィルム：プロビア 〈撮影〉三好和義氏

特集 写真家・三好和義氏

写真に心を写し出し、  
自分自身の心の旅をたどる。..... 2

キタムラがお薦めする「春の花」撮影ポイント ..... 10

カメラはライカ〈第2回〉

銘機M3とその周辺、その背景 田中長徳氏執筆 ..... 15

キタムラがお薦めするこの一品

ミノルタ α-9 ..... 18

ぶらりわが街

青森県黒石市 大平光徳さん ..... 20

保存版 レンズ特集

..... 25

次ページ (P2・3) の写真解説

〈福島三春町福聚寺紅しだれ〉見事な紅色をしている珍しい桜。まわりの竹林とのコントラストでよく目に映る。曇りの日、風を待って、そっとスローシャッターを切った。

■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：600mm 絞り：f45.5 シャッタースピード：8秒 フィルム：ベルビア PLフィルター使用 〈撮影〉三好和義氏

第7回「秋の彩フォトコンテスト」入選作品発表 ..... 22

全国写真クラブ紹介 ..... 31

キタムラインフォメーション ..... 32

カメラのキタムラ 新規学卒社員大募集! ..... 32

プレゼントが当たる! クロスワードパズル ..... 32

編集後記 ..... 32

MINOLTA



ハードな金属外装が実現した、信頼性というプロスペック。

ハイレベルな映像表現を目指す撮影者の厳しい要求に応えて、αシリーズのフラッグシップとして誕生したプロフェッショナル一眼、α-9。最高機種に求められる基本性能の高さは元より、撮影者の信頼に応え得る堅牢性と防塵防滴性、そして耐久性をハイレベルで融合させている。卓越した堅牢性を実現するために、高強度の特殊合金(SUS304)と高精度の亜鉛ダイキャストをそのボディにまとめた。さらに、カメラ本体の骨格とも言える前枠、そしてミラーボックスにはアルミダイキャスト、底面カバーと左サイドカバーには亜鉛ダイキャストを採用。この金属外装は、最高機種としての堅牢性と精度を確保するだけでなく、その高品位な質感は、かつての名機をも彷彿とさせる。また、防塵防滴性にも十分に配慮している。シャッターボタンなどのボタン類やダイヤル部は、水滴やほこりが入りにくい構造とし、縦位置コントロールグリップ用信号接点やリモートリリースターミナルは、カバーを設けた防塵設計を採用している。さらに、いつでも高性能を発揮し続けるために、耐久性にも徹底的にこだわった。そのポイントとなるシャッターでは、約10万回に及ぶ耐久性

を確認。最高速1/12000秒を誇る高速シャッターはいつまでも信頼に支え続ける。900項目にも上る苛酷な品質チェックをクリアして、初めてα-9として撮影者の手に渡る。そして、手にした時に信頼感となって伝わってくる、最高機種にふさわしいその重量感。確かな信頼感に満たされながら、撮影者は深遠なイメージの世界へとその感性を解き放つ。すべては、「最高の一枚」のために。

新発売

α-9

希望小売価格(税別)  
α-9ボディ ..... ¥250,000  
AF50mmF1.4 NEW ..... ¥40,000  
縦位置コントロールグリップVC-9 ¥35,000





特集  
写真家  
三好和義氏



みよし かずよし  
1958年徳島生まれ。東海大学文学部卒業。86年木村伊兵衛賞を最年少で受賞。写真集は「タヒチ伝説の楽園」「美しい日本の四季」「ぼくのふるさと阿波吉野川」(以上小学館)など多数。最新刊はユネスコの依頼で撮りおろした「日本の世界遺産」(小学館)。

今年も「全国春の花フォトコンテスト」の季節がやってまいりました。今年はどんな春の写真がとくだろうと、カメラのキタムラでは今から皆様から送られてくる作品に期待を膨らませております。ご応募いただける皆様のために、カメラのキタムラでは、今年も「全国春の花フォトコンテスト」の審査をお願いする三好和義先生をおたずねして、先生の近況とともに、入賞のアドバイスをおうかがいいたしました。心の「楽園」を求め続ける三好先生の、写真に対する深い思いが皆様のもとにとどき、皆様のより素晴らしい作品の呼び水としていただけることを願っております。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好氏の作品です。

# 写真に心を写し出し、自分自身の心の旅をたどる。

季節感のあふれる写真というのは、日本人特有のものだと思います。

最初に、世界の各地を撮影してこられた三好先生に、日本の自然の特徴をおうかがいしたいのですが。

昨年、チベットの奥地、仏教の聖地カイラス山に行きました。標高が4000m以上の場所をジープで移動したのですが、山の上を走っているようなもので、雲が手に取れるように近く、空は青さが強くて暗く思えるほどでした。その景色は日本では決して見られないものです。

その後、ニュージーランドへも行ってきました。ニュージーランドは緯度が日本に近いので、ブナの原生林があったり、植生は似ています。似てはいるのですが、やはり違う。微妙に違います。日本の自然には、確かに他の地域にはない特徴があると思います。

世界の各地を見てきて思うのは、日本の自然の持っている特徴というのは、やはり四季がはっきりしていることだと思います。これは日本独特のもので、特に春の華やかさは独特です。他の地域では花は咲いて日本ほどの華やかさは感じられません。

そうした自然の中に育った日本人が、他の国の人と異なった感性があるとするところのような点だとお考えですか。

明確な四季に囲まれていることもあって、日本人は季節に対して敏感で、観察力があると思います。また、それを表現してみたいという気持ちも強いです。

写真というものはこのように、自分の中で旅をすることができます。写真は並べて見ることができ、そこから自分の道筋を確認することができます。シャッターを切りながら自分自身をたどってゆくことができるのです。風景をいくら目に焼き付けても、それを並べて見ることはできません。ですから、たどるということは難しいと思うのですが、写真はそれができるのです。

コンテストで上位入賞するためには、個性と技術のバランスが大切です。

三好先生はテーマに沿って作品づくりを続けられているように思いますが。

私には「楽園」という大きなテーマがあります。楽園というのは私にとって、きれいな



〈秋田県角館町〉桜のトンネル。早朝、人のまだいない時間に出かけた。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：135mm 絞り：f32.5 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア



〈盛岡市龍谷寺盛岡しだれ〉天然記念物になっている見事な大輪の花。逆光で絞りを開けて、レンズのボケ味を楽しんだ。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：400mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：プロビア

〈新潟県極楽寺〉天然記念物の優雅な桜。バックには黒い布をたらし花だけを撮った。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：210mm 絞り：f8 シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア



〈岡山県落合町醍醐桜〉霧に見えかくれる巨木。見事な桜ぶり。霧はうんと明るめにした。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レンズ：90mm 絞り：f22 シャッタースピード：2秒 フィルム：プロビア

という気持ちも強い。たとえばニュージーランドの人たちの写真集を見ても、日本人のものは少し違う。自然の厳しさや造形をとらえているものが多く、日本のように季節感あふれる楽しい写真集というものはあまり見られません。

自分自身をたどった旅が、「ぼくのふるさと阿波吉野川」という写真集です。

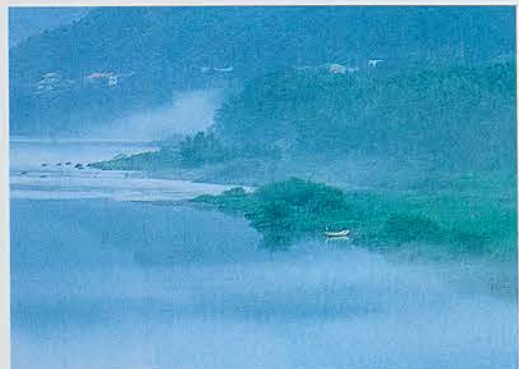
先生は昨年「ぼくのふるさと阿波吉野川」という写真集を出されていますが、ここにも日本の自然があふれていますね。

これは私が小さいときの思い出をたどりながら、ストーリーを作っていたものですね。小さいときに遊んだ吉野川をテーマにしたいと思っていて、それで吉野川を上流まで上っていったのですが、そこに流れている水は自分が子供の頃に飲んでいた水なのです。ですから吉野川をさかのぼることは、自分自身の心をたどっていくことだと思えました。自分はどこへ行くのかを知りたい、という思いもあるのですが、その前に、自分はどこから来たのか、それが知りたかったんです。

上流まで行ってみると、そこには日本では見ることができないものがある。南の島の



「ぼくのふるさと阿波吉野川」三好和義(小学館) 4,300円(税別)



雨あがりに橋の上から撮影。モノトーンがいい。(「ぼくのふるさと阿波吉野川」より)  
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：300mm 絞り：f16 フィルム：プロビア

個性を磨くこと、それを普段から大事にしてほしい。



〈高知県吾川ひょうたん桜〉小雨の中で撮影。みるみる霧があたりをおおう。舞台を見ているようで、変化がおもしろい。上の2枚は同じ日に撮影。  
(上) ■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：90mm 絞：f32 シャッタースピード：2秒 フィルム：プロビア  
(下) ■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：90mm 絞：f32 シャッタースピード：4秒 フィルム：プロビア



〈京都市松自寺〉大雨の中、カサをさして撮影。堀をつきやぶる天然記念物の桜。散花は美しいものだ。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：135mm 絞：f22 シャッタースピード：15秒 フィルム：プロビア



〈福島県三春の滝桜〉田舎のイメージが撮れた。1日いるといろんなシーンに出会う。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：150mm 絞：f32.5 シャッタースピード：1/8秒 フィルム：プロビア

なもの、きれいな所なんです。もちろん、そこには現実があるのですが、写真はその現実から私の楽園を抽出してくれます。もっとも、ただきれいなだけではいけません。一枚の写真からストーリーが読みとれなければならぬと思うのです。それは表現の深さということではないかと思えます。

そうした表現の深さを追求することは、最近の優れたカメラやフィルムを使えば、誰でもできるのです。俳句を詠むように、気持ちを表現できます。ですから私は、写真は科学的な俳句だと思っております。

いと思えます。

これは普段からの感性の磨き方にかかっていると思えます。誰でも好き嫌いに個人差があります。自分は何が一番好きなのか、なんで好きなのか。それを追求してゆくことで、自分なりのものの見方が生まれてくると思っています。

同じ場所に行っても、同じ桜を撮っても、撮る人によって作品は違ってくる。コンテストの審査でそれを一堂に並べてみると、そのことがよくわかります。毎年、有名な桜は多くの方が作品を送られてくるのです。

〈新潟県極楽寺〉まわりで遊んでいた子供達を集めて撮影。桜の木の大きさがよくわかる。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：210mm 絞：f22 シャッタースピード：1秒 フィルム：プロビア



〈高知県吾川もくれん〉霧にかすんだ山をバックに撮影。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：300mm 絞：f32 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：プロビア



霧の晴れ間をねらって撮影。空を少し入れて奥行き広がりを出した。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4×5 レンズ：300mm 絞：f22 シャッタースピード：2秒 フィルム：プロビア

レンズやフィルムの選び方にも反映して違った作品となっていると思うのです。そうした一人一人の個性の違いを普段から大事にしてもらいたい。写真を見るばかりではなく、絵画を見たり、俳句をたしなむのもいいと思うのです。私は以前は撮影する時に浮世絵を参考にすることがありました。歌舞伎や文楽からもアイデアやヒントを得てきました。音楽もよく聴きます。これは記憶を作る作業なのです。桜を撮るにしても、ただシャッターを切るだけではいい作品にはなりません。自分の記憶と照らし合わせて作品を作っているように思うのです。ですから日頃から自分の記憶を作る。自分の好きなものをさがし、その好きなものの記憶をためておくことが大事なことではないかと思えます。

ですから、今回の春の花フォトコンテストでも、そうした一人一人の個性の違いを見せてほしいですね。葉の一枚、花の一片であっても作品は成り立ちます。桜にしても、たとえば散ってしまった桜でもいいと思うのです。有名な桜でなくてもいいのです。撮影者の心の表現、気持ちの表現であってほしい。そこに一人一人の個性を表現してほしい。「懐かしさ」や「ほのぼの」など、キーワードはたくさんあると思います。

先生は今後どのような活動を展開される予定ですか。

まず今年は南極に行きます。局地で苛酷ではありますが、手つかずの自然が残されていると思うのです。写真集としては日本

「第6回全国春の花フォトコンテスト」審査風景



## カメラのキタムラ 「第7回全国春の花フォトコンテスト」

毎年新たな写真集を出され、常に意欲的に写真と取り組んでおられる三好先生から、今回の「春の花フォトコンテスト」に向けて、「二人一人の個性を見せてほしい」というメッセージをいただきました。先生のお話の中には、「葉の一枚、花の輪であったりも作品は成り立ちます」あるいは「懐かしさ」や

「ほのぼの」など、キーワードはたくさんあると思います」といったアドバイスが多かったです。今回の「春の花フォトコンテスト」にかかる先生の期待の大きさがうかがわれました。

ご応募される皆さんも、三好先生のお話を参考にさせていただいて、個性豊かな作品にチャレンジしてください。カメラのキタムラでも、皆さんからのオリジナルティあふれる作品の数々をお待ちしております。

また、特にネガカラー部門にご応募される方々に、三好先生から「最近のネガカラーフィルムは中間色もよく再現できるので、新しいネガカラーフィルムを使用してみると、あるいは新しい表現ができるかもしれません」という貴重なアドバイスもいただいております。ネガカラー部門でのご応募をお考えの方は、是非、参考にしてみてください。

### カメラのキタムラ 「第7回全国春の花フォトコンテスト」 作品募集のお知らせ

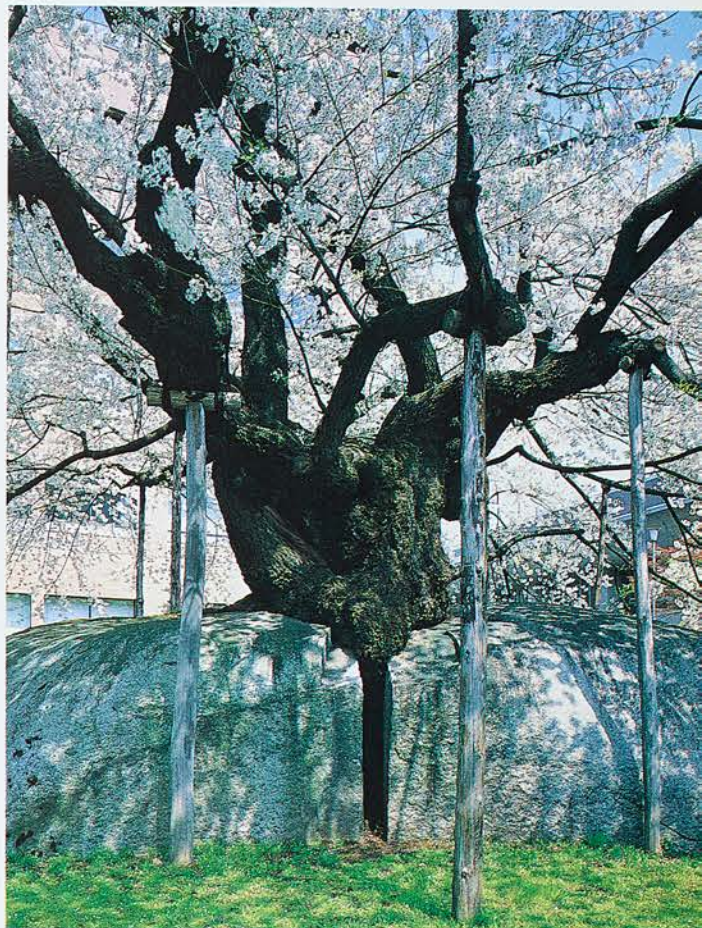
年々応募点数も作品のレベルもアップしており、写真ファンの皆さんにもすっかりおなじみとなったキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」。今回も桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

賞金・賞品総額 500万円!

写真は心を写すことができる、そう信じていることが大切です。

〈盛岡市石割り桜〉じっくりと構図を考え、堂々とした姿を正面から撮った。  
■カメラ：リンホフマスターテビニカ4×5 レンズ：90mm 絞り：f32.5 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア



の宿、日本の旅をテーマにまとめます。また南の島のモルディブの写真集も出しますし、秋には屋久島の写真集も出す予定です。今後も日本のよさ、それから地球全体を楽園というテーマで撮っていきたくいですね。

私自身、楽園というテーマがこんなに大きく広がっていくとは思っていませんでした。写真は精神的な世界まで表現することができずから、ここまで大きく広がってきたのではないかと思います。できると信じれば、写真は心の世界まで写すことができます。信じていることが大事なことだと思います。風景写真なんてカレンダーの写真程度の物だと思っただけで撮っていたら、その程度のものしか撮れませんから。

最後になりましたが、カメラのキタムラに望まれることができましたら、コメントをいただきたいと思います。

カメラのキタムラは地方にも多く出店されていますので、フィルムがなくなったりなどにご利用させていただいています。地方のお店でもカメラのキタムラの品数の豊富さには驚かされます。それもいい物を厳選して置いてあります。頑張っ、もっとたくさんお店を出して行ってほしいと思います。

お忙しいところを、ありがとうございました。

〈兵庫県大屋町樽見の大桜〉大きさを出すため、下からあおるように撮影。  
■カメラ：リンホフマスターテビニカ4×5 レンズ：300mm 絞り：f22.5 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア



〈屋久島〉登山道わきに人知れず咲くツツジ。山並みを入れてスケールを出した。  
■カメラ：リンホフマスターテビニカ4×5 レンズ：135mm 絞り：f32 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：プロビア



〈岩手県安代町〉古いソフトフォーカスレンズを使ってのどかな感じを表現。  
■カメラ：リンホフマスターテビニカ4×5 レンズ：ベリット210mm 絞り：f8 シャッタースピード：1/2秒 フィルム：ペルビア

カメラのキタムラ  
第7回全国春の花  
フォトコンテスト

カメラのキタムラ  
「第7回全国春の花フォトコンテスト」  
作品大募集!! 賞金・賞品総額500万円!

今年もキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」を開催いたします。  
桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOK。  
皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。  
※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



キタムラがお薦めする  
「春の花」撮影ポイント

ここにご紹介する撮影ポイントおよび写真は第6回全国春の花フォトコンテストに入賞された方々にご協力いただいたものです。

説明中の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③交通手段 ④撮影チャンス時期と時間

※撮影時期はその年の天候に左右されますので、事前にご確認の上お出かけください。  
※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっていることも考えられますので、ご了承ください。  
※撮影する場合はエチケットやマナーを守りましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。  
また、自然環境への配慮もお願いいたします。

〈桜の部〉

7 ①村田 栄一様 ②京都市  
東山区円山公園 じだれ桜③  
JR京都駅→市バス 祇園バス停下  
車→八坂神社境内徒歩5分 ④4  
月上旬 午後5時前後(晴天のライト  
アップ時 但し場所確保に半日を要す)



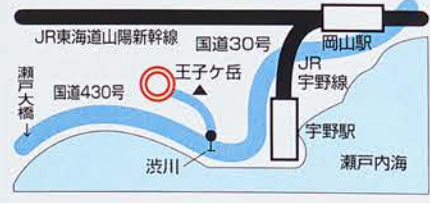
8 ①中村 みつる様 ②奈  
良県吉野郡吉野町吉野  
山 上千本付近 ③近鉄吉野線  
吉野駅→ロープウェイ(頂上)  
→徒歩30分 ④4月中~下旬  
早期日の出前 朝霧が適度に出  
ればベスト



11 ①田中 正司様 ②山口県阿武郡つみ  
村大字吉部上(村役場近く) 県道13号  
蔵目喜川(蛇淵)にかかる鈴倉橋上 ③JR山陰  
本線東萩駅→吉部行バス40分→吉部バス停下  
車→徒歩20分 ④  
4月上旬 午前6~8  
時(小雨、薄い霧の  
時がよい。但し雨後  
に濁りがあり注意)



10 ①岡本 義光様 ②岡山  
県玉野市 王子ヶ岳山頂  
③JR岡山駅→渋川行きバス1  
時間10分→渋川バス停下車  
→王子ヶ岳山頂に向って徒歩  
40分 ④4月中旬 午前8時  
~午後4  
時前後



9 ①木立 萬蔵様 ②岡山  
県津山市津山城跡(鶴山公園) ③JR津山線津山駅下車  
→徒歩15分 ④4月上旬 夕  
暮れ(桜祭の期間、午後10時  
まで入園可)



3 ①石川 忠男様 ②新宿  
区 新宿御苑 芝生大広場  
から高層ビルの方角 ③JR新  
宿駅下車→徒歩10分 ④4月  
上~中旬 午後10時まで



2 ①小寺 敏雄様 ②福島市立子山 一円  
寺境内 ③JR東北本線福島駅→JRバス  
(川俣方面行き)→一円寺前バス停下車→徒歩  
5分(旧国道に向かう細道) ④4月中旬 午前  
10時頃



1 ①むらうち かつお様  
②北海道函館市五稜郭公  
園内 ③JR函館本線函館駅→  
市電五稜郭公園駅下車 ④5  
月上旬 午前11時~午後3時頃



6 ①森上 信名様 ②長野  
県伊那市 ③JR飯田線  
伊那市駅→高速公園方面 車で  
4~5分 ④4月中旬 午前中



5 ①山梨 英昭様 ②山  
梨県身延町身延山 久遠  
寺 ③JR身延線身延駅→山梨  
交通バス身延山行き終点下車  
→徒歩15分 ④4月上旬 午  
前5~6時(朝日の斜光がきれい  
いな時)



4 ①岡崎 進治様 ②千代田区千鳥ヶ淵  
靖国神社方面より撮影 ③地下鉄東西  
線九段下駅下車→武道館方面出口から靖国通  
り徒歩3分 ④3月下旬 午後3時前後(花吹雪  
は1月上旬)



# 〈一般の部〉

**3** ①小井田 和虎様 ②青森県上北郡横浜町 ③JR大湊線吹越駅下車→徒歩15~20分 駅案内板で菜の花畑へ ④5月中~下旬 午前中 ※5月中旬 菜の花祭りあり



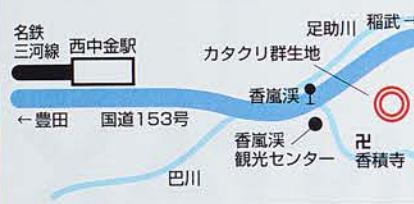
**2** ①古平 文男様 ②北海道樺戸郡浦臼町 浦臼神社の森 ③JR札沼線鶴沼駅下車→国道R275沿いに徒歩5分④4月下旬 6~10時 注意:絶対に花の中に入らないこと



**1** ①村上 優司様 ②北海道洞爺湖 壮瞥(くらべつ)公園 ③JR札幌駅→バス約2時間30分→洞爺湖温泉→車で約10分 ④5月上~中旬 午前7時前後



**6** ①樽松 貞美様 ②愛知県東加茂郡足助町 飯盛山 北西山麓の第2駐車場から遊歩道にあり ③名鉄西中金駅→バス15分→香嵐渓バス停下車→徒歩10分 ④3月下旬 午前11時過ぎから午後2時頃 ※問合せ:足助町観光協会 0565-62-1272



**5** ①平田 光夫様 ②長野県水内郡牟礼村霊仙寺そば ③JR信越線牟礼駅→霊仙寺方面車で約20分 ④4月中旬 午前中



**4** ①副島 清様 ②埼玉県比企郡幾川村 霊山院 ③JR八高線明覚駅→車で約15~20分 ④4月上旬 午前10時~午後2時頃



**9** ①森木 泰代様 ②熊本県阿蘇町 阿蘇九重国立公園 ③車 九州自動車道熊本IC→R57より阿蘇登山道路→阿蘇山登山口手前 ④5月上旬 写真は悪天候が辛い



**8** ①岡本 一志様 ②愛媛県上浮穴郡小田町 小田深山 ③車 松山→R56 約70分→内子町R379 約30分→林道 約40分→小田スキー場 経由 小田深山 ④4月下旬 南北方向の渓流は午後がよい



**7** ①森 秀雄様 ②京都市平安神宮苑 ③京都駅→地下鉄東西線東山駅下車→徒歩約10分 ④5月上旬 正午頃

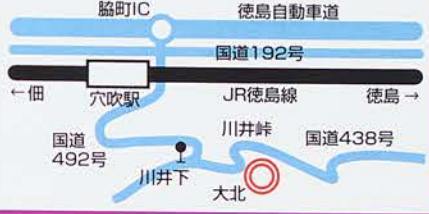


# 〈桜の部〉

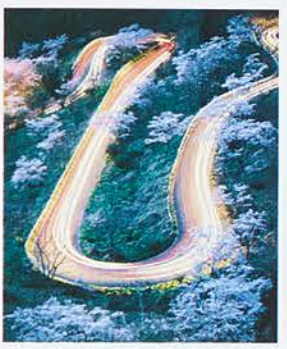
**13** ①戸田 登様 ②愛媛県周桑郡丹原町久妙寺 ③JR予讃線壬生川駅下車→徒歩→東予港→バス湯谷口線→ナイトショップおしぶの森バス停下車→徒歩25分 ④3月下旬 午前7時頃



**12** ①日下 真智子様 ②徳島県美馬郡木屋平村大北 国道R438沿い 川井峠 ③JR徳島線穴吹駅→村営バス川井下停留所下車→徒歩1時間 川井下峠(車が便利) ④4月上旬 午前8時



**14** ①黒田 正美様 ②熊本県阿蘇郡高森町 九十九曲高森公園 高森峠千本桜中腹 ③南阿蘇鉄道高森駅→高森峠千本桜方面 車で約10分 ④4月上~中旬 午後6時30分~7時



●印はカメラのキタムラがある地域。

説明中の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③交通手段 ④撮影チャンスの時期と時間

※撮影時期はその年の天候に左右されますので、事前にご確認の上お出かけください。  
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっていることも考えられますので、ご了承ください。  
 ※撮影する場合はエチケットやマナーを守りましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけるように注意しましょう。また、自然環境への配慮もお願いいたします。



# カメラは 田中長徳

## 第2回 ライカ

### 銘機M3とその周辺、その背景

M3か、それともM2か!? その選択は人生の大問題だ。

1954年に世界を震撼させた画期的なカメラ、ライカM3がフォトキナで登場し、一大センセーションを巻き起こした。迅速なレバー巻き上げ、等倍に近いブライトフレームファインダー、そして素早く交換可能なバヨネットマウントで一世風靡をしたライカである。(協力：三共カメラ)



度ではライカを凌ぐものがあつた。ライカとコンタックスとはそれぞれに熱狂的なファンを擁して、これがいわゆる「ライカ・コンタックス戦争」にまで発展して行くだけ、そのことはここでは触れない。さて、そのコンタックスタイプカメラの特徴をあげるなら、まず第一にコンタックス

下のアイスから登場したのがコンタックスだ。ライカを追い越せ!の勢いのコンタックスは、

当時としてはその交換レンズの充実

ライカD II型が発表された時に、宿敵ライカに対抗して天

下のツァイスから登場したのがコンタックスだ。ライカを追

い越せ!の勢いのコンタックスは、

当時としてはその交換レンズの充実

ライカD II型が発表された時に、宿敵ライカに対抗して天

下のツァイスから登場したのがコンタックスだ。ライカを追

い越せ!の勢いのコンタックスは、

当時としてはその交換レンズの充実

ライカD II型が発表された時に、宿敵ライカに対抗して天

下のツァイスから登場したのがコンタックスだ。ライカを追

い越せ!の勢いのコンタックスは、

実際に日本は日本のニコンがニコンSシリーズを製作し、これはコンタックスマウントを装備した一種のコンタックスコピーであつたけど、ニコンでもすぐにレンジファイ

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

戦後にまで引き継ぐことなく、ライカの一人勝ちと言わば、ライカの不戦勝で終

Nikon



PRONEA S

APS AF一眼レフ/ニコン・プロネアS  
ボディ本体のみ(コンストラップ・一眼用目当てOK) ¥54,000  
IXニッコール 30~60mm F4~5.6付 ¥74,000

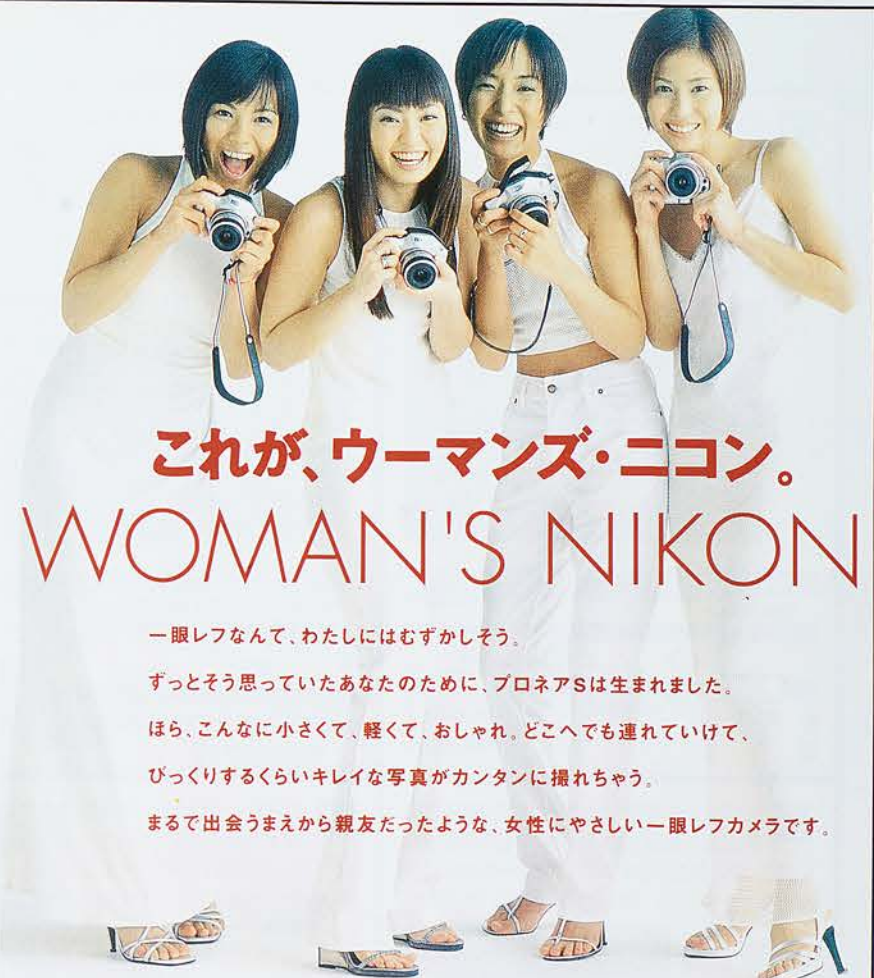
- インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/>
- NIFTY-Serveで「ニコン・ステーション」を開設しています。「GO.SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。
- カタログをご用意しています。機種名をご明記のうえ、100-8693 東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛に請求ください。



株式会社 ニコン

本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル)

製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話 (03) 3216-1010 FAX (03) 3287-0897



これが、ウーマンズ・ニコン。  
WOMAN'S NIKON

一眼レフなんて、わたしにはむずかしそう。  
ずっとそう思っていたあなたのために、プロネアSは生まれました。  
ほら、こんなに小さくて、軽くて、おしゃれ。どこへでも連れていけて、  
びっくりするくらいキレイな写真がカンタンに撮れちゃう。  
まるで出会うまえから親友だったような、女性にやさしい一眼レフカメラです。

京セラ株式会社



CONTAX  
Aria

●大きさ137(幅)×92.5(高さ)×53.5(奥行き)mm、重さ460g(電池別)の軽量コンパクト設計。(Ariaボディ)●CONTAX一眼レフ初の評価測光搭載。●マニュアルフォーカスを快適にする明るいファインダー。●設定自在のカスタム機能。●ストロボ撮影時の操作性を高めるオートセット機能。●最高速1/4000秒の高精度シャッター。●日付や露出データをフィルムに記録できるデータバックD-9装備。●メーカー希望小売価格/Ariaボディ:89,000円、AriaD(データバックD-9付)ボディ:132,000円(消費税抜き価格)

\*Ariaボディは別売。AriaDボディは標準装備。製品写真はAriaにプラナーT・50mm F1.4を装着したものです。

京セラ(株)光学機器事業本部 〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 TEL:03(3708)3114  
©京セラインターネットホームページ<http://www.kyocera.co.jp/>

# カメラは ライカ

ライカが生まれた街、ウエッツラーの旧市街。中央の赤いタワーは、ドムと呼ばれる教会。



躍している写真家達から、すでに新型ライカM4は市場に出ていたが、もちろんそういう最新型などには手の届くはずもない。私の手に入れたのはブラックベインのM2型であったけれど、当時ブラックのM2などは変わり者が使う変わったライカに過ぎなかったから、M4というの完

全な新型というのではなく、むしろM2のマイナーチェンジっぽい機種であるということが、私に「M2は将来に渡って正統的なライカMモデル」となるのでは？という予感を感じさせたのは確かだった。その予感が的中した、という程ではないにせよ、M4の後継機、M5、そしてM4.2、M4.P、さらにライカM6に至るまで、ファイダー系の基本はそのままなのである。これはライカの進歩の無さというよりも、40年前のファイダー構造がまだ現役で使用できる、という優れた長所なのではないか？と最近思うようになった。



たなか ちょうとく  
1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近はクラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。

M2は将来に渡って正統的なライカMモデルとなるのでは？という予感を感じさせたのは確かだった。事実、M2はその改良型としてライカM4を生み、それは1984年にライカM6の登場となる。ライカの詳しい系譜は私が翻訳した「ライカポケットブック 日本版」(アルファベータ刊)に詳しいので参考にしていただきたい。



ンダー機から撤退し、その主力を一眼レフに注ぎ込んだ。さらに旧ソ連では、これはコンタックスレンジファインダーの完全なコピーである、キエフというカメラを製作し、これは30年以上に渡って生産されたコンタックスコピー機となった。

手短かに書いて見ると、ライカM3の登場というのは、以上のような歴史背景がある。言い方を変えれば、ライカM3登場の時には、レンジファインダーカメラはそろそろ、その社会的な指命を終えて、そのパトンを一眼レフに渡そうとしていたの



コンタックスの歴史は1932年、つまりライカDII型が発表された時に、宿敵ライカに対抗して天下のツァイスから登場したのがその始まりだった。ライカと並び広く愛用され、戦後にはその完全なコピーが旧ソ連からキエフという名で登場した。

そしてライカM3あるいはM2には広角標準レンズを使用している姿が良く見られた。特に周囲の環境を乱さずに静かな撮影をしたいという写真家連中は一眼レフではなく、レンジファインダーのライカを好んで使用するようになった。読者の皆さんの中には静かな撮影なら、コンパクトカメラがあるのでは？と思われる方もいるかも知れないけれど、それはずっと後の話、すなわち1970年代も終わろうという時代のことである。1960年代にはコンパクトカメラはまだ存在していなかったし、実際にはコンパクトカメラ並の小型軽量さを持つフィルムカメラは、当時はまだプロ写真家がこれを使用するなどは、想像

も出来ないという次第であった。そういう基本背景をわきまえた上でライカM3型を



日本のニコンがニコンSシリーズを製作し、これはコンタックスマウントを装備した一種のコンタックスコピーであった。プロ写真家、報道関係に使われたが、ニコンはレンジファインダー機を見捨て、一眼レフ、ニコンFのほうに力を入れ、世界帝国を築く。写真はニコンS3。

認識すると、これはまず歴史的カメラであると同時に、人類の製作し得た、最高の精密感を持ったライカであるということが分かる。そのほぼ等倍の実景に張り付いたように見える明快で正確なファインダーは、ライカM型の歴史の中でも、これを凌ぐファインダーはついに現代に至るまで製作されていない。

そのライカM3が登場して数年後、1957年にはライカM3があまりに高級で、もっと買いやすい価格のライカM型を、という市場の声に答えて、ライカM2型が発売された。ファイダーの構造は若干簡略化し、さらに自動復元式のファイダーを手動復元式にして、価格を若干安くしたモデルがM2型である。ファイダーフィルムはM3の50、90、135ミリに対して、35、50、90ミリという広角系に強いファインダー構成にした。さらにすでに当時、生産中止になっていたプロ仕様のM3型、すなわちライカビットという迅速撮影が可能



M3人気の中、一方でもっと買いやすい価格のライカM型を、という市場の声に答えて、ライカM2型が発売になったのは1958年。35ミリの広角用ファインダーを備えているので、主に若手のスナップ派カメラマンに愛用された。

なライカの底ぶたと交換して仕様する装置を装着した特殊モデル、ライカMP型に使用する、ライカビットMPを、単体で販売するようにし、ライカM2型にはこのライカビットが、無調整でそのまま装着可能となっていた。このため、迅速な撮影を必要とする報道関係の写真家などには35ミリのブライトフレームの使用可能なこと、ライカビットMPの使用が可能なこと、M2は最初のM3の普及型という意味を越えて「仕事の出来る実質的なライカMモデル」というイメージが出来た。

当時、日大の写真学科の学生であった自分などは、ライカM3を選ぶか、それともM2にするか、というのは、それこそ自分の将来の道を選択する以上の人生の大問題であった。「M3かM2か？それが問題だ！」というので、カメラ雑誌などを片っ端から読んで、その選択に迷ったのである。結局、迷いに迷ったあげく到達したのは、外国のカメラ雑誌や日本のカメラ雑誌で活



STF135mm F2.8レンズ  
今までにないボケ描写の美しさを実現するミノルタの新レンズ。前ボケ、後ボケを問わず

ないなめらかな美しいボケ味は、プリントでも十分に堪能することができる。作例をご覧ください。なめらかなボケ描写が背景の形状や遠近感を表現している。また、光源のハイライトの自然な輪郭にも注目していただきたい。

STF135mm F2.8 [T4.5] : T4.5で撮影



AF80-200mm F2.8G : F2.8で撮影



商品企画部長の田中博氏。さらにオプションの縦位置コ



日中シンク口撮影やポートレートのキャッチライト等で威力を発揮するフラッシュを、このハイクラスの機種が搭載。歓迎するユーザーも少なくないだろう。TTLワイヤレスフラッシュ撮影が手軽に行えるようになった点も見逃せない。

また、α-9の発売と同時にαシリーズ用のSTF135mmレンズも発売されました。「レンズのボケ描写にこだわりを持って2年の開発期間を要して開発いたしました。今までもボケ描写をよくしたいという試みは何度もありましたが、技術的に難しく、前ボケ、後ボケの両方がなめらかなで、しかも誰が見てもそのボケ描写のよさがわかるレンズは非常に少なかったのです。このレンズの場合はその効果はつきりとわかりますので、従来のレンズとは異なり、ボケ味を十分に楽しんでいただけます」とお話しただけしたのはカメラ第3開発部課長の工藤吉信氏。ミノルタでは今回のレンズを開発するために、その研磨技術を駆使して、新たに光学エレメントを開発したそうです。

α-9の特徴は外装やファインダー、レンズばかりではありません。フィルムコマ間に撮影データを写し込むことができるデータメモリパックは、標準で2MBのスマートメディアを使用、18項目のデータをフィルム400本分も記録することができます。もちろん市販のスマートメディアも使用でき、8MBのカードを使用すれば900本まで記録することができるので、フォトコ

ン応募用の作品データをいちいちメモする手間がかりません。また、露出補正では1/2段、1/3段とステップを変化させる場合、これまでカスタム設定で切替えるカメラというのはありませんでしたが、α-9は露出補正をダイヤルをつまみあげて回すだけで、ステップを変えることができます。リバーサルフィルムをお使いの時、シーンに応じて、よりきめ細かい露出制御ができます。

このように、様々な工夫を凝らした最新鋭35mm一眼レフ。今後のシリーズ展開に、キタムラも期待を膨らませております。銀塩写真のファンはもとより、写真を愛する多くのお客様に、是非一度、その感触をキタムラの店頭でお試しください。一品です。

撮影者の気持ちに添えるαシリーズを超えたミノルタの技術の集大成

中心部の透過率が高く、周辺部を低く落としたアポタイゼーション光学エレメントをレンズの中心部に使用し、コアとなる被写体の形状を損なうことなく、ボケ描写のなめらかさを達成しています。

シンプルな天面の操作部分。ダイヤルの表示部には特殊蛍光材が使用され、夜間撮影での視認性を高める配慮がなされている。左の露出補正ダイヤルを引き上げて180度回転させると、1/2EVステップと1/3EVステップの露出補正切替が行える。

フロントロールグリップを装着すると、最大3つの電池を内蔵でき、相互にスイッチで切り替えて使用することができます。構図を決めて大量の撮影を行う場合に、いちいち三脚から取り外して電池を交換する必要があるのです。このグリップはシャッターボタンや各操作部も備えていますので、縦位置の撮影でも横位置と同様の操作感で撮影することができますので、構図に凝られるお客様にもお勧めできます。

150gほど重くなったそうですが、グリップのホールディングがよいので、持っていても重さは気になりません。

ミノルタ(株)光学機器事業本部カメラ開発センターカメラ第3開発部31課課長研究員 工藤吉信氏

ミノルタ(株)光学機器事業本部カメラ開発センターカメラ第2開発部21課主任 岡崎純氏

ミノルタ販売種商品企画部長 田中博氏

撮影者の気持ちに添えるαシリーズを超えたミノルタの技術の集大成

「最新のカメラはプラスチック化されておりまして、軽くて自由な形状を低コストで実現できますが、カメラの重厚なシャッター音や重量感は損なわれません。今回α-9では、愛着を持って使っていたきたいので、金属外装を達成し、心地よく撮影をお楽しみいただくためにシャッター音もよくしなげればならないと思いました。大多数のカバーにはステンレスを用い、底部分は重量のあるダイキャストを使用し、三脚を使用した場合にも、カメラを安定して支持させることができます」と、三脚を使用する機会の多いキタムラのお客様には嬉しいお話を聞かせていただきました。何よりも撮影者の気持ちを大切にされているミノルタならではの会話です。9xiから比べると約

1年、その次の年から具体的な製品設計に入り、数多くの試作を繰り返したということです。

「今回のα-9を開発するにあたりまして、高品位ファインダーと、質感の高い外装に重点を置きながら開発を進めました。ファインダーについては視野率100%、質感では金属外装を達成し、ピントの合わせや

## 光学機器メーカーの雄が送り出した 新たなフラッグシップ

# ミノルタα-9

カメラのキタムラ  
カメラ担当バイヤーの  
岩崎が聞きました



ミノルタα-9(1998年発売)  
5.5コマ/秒の高速連続撮影、最高速1/12000秒、フラッシュ同調速1/300秒、視野率100%のファインダー等々、数々の最新機能を搭載した、ミノルタのフラッグシップ機の名に恥じない逸品。特にその心地よい重量感とシャッター音を、ぜひ一度体験してみてください。

昨年12月、ミノルタからαシリーズ最上位機種としてα-9が発売されました。プロやハイアマ向けに発売された、待望の最高級35mm一眼レフカメラです。カメラのキタムラでは「ミノルタの70年に及ぶ技術の集大成」としてリリースされた、この新たなフラッグシップ機α-9に注目し、カメラ担当バイヤーの岩崎が直接ミノルタ(株)におじゃまして、その優れた先進性と信頼性をおうかがいいたしました。

すいMタイプスクリーンなど、お使いになる方を撮る気にさせる商品にしたかったのです」と岡崎氏。ファインダーの視野率を100%にするためには、単に面積だけでなく、寸分狂わぬ位置精度がでないければなりません。ミノルタでもα-9のファインダー開発では、この点が最も苦労されたそうです。「これまでのファインダーはピントの合ったところを表示するのに液晶を使用していたのですが、明るいファインダーを達成するために、液晶を止めまして、ペンタプリズムの前から赤色の光を入れて、ピントの合った位置を投影するという新技術を採用し、従来のものより3割以上も明るくしています。この技術は2年以上の試作と検討を繰り返してできたものです」ミノルタのファインダーに対する並々ならぬこだわりがうかがえます。



質感を高めた理由を岡崎氏にうかがうと、「最近のカメラはプラスチック化されておりまして、軽くて自由な形状を低コストで実現できますが、カメラの重厚なシャッター音や重量感は損なわれません。今回α-9では、愛着を持って使っていたきたいので、金属外装を達成し、心地よく撮影をお楽しみいただくためにシャッター音もよくしなげればならないと思いました。大多数のカバーにはステンレスを用い、底部分は重量のあるダイキャストを使用し、三脚を使用した場合にも、カメラを安定して支持させることができます」と、三脚を使用する機会の多いキタムラのお客様には嬉しいお話を聞かせていただきました。何よりも撮影者の気持ちを大切にされているミノルタならではの会話です。9xiから比べると約

**OLYMPUS**  
人から発想します。オリンパス

い、する。



私の撮りやすいカタチ

私の大切なものを、私らしく撮りたい。  
そんな気持ちにこたえてくれた、  
オリンパス*i*ズーム75。  
「小さい」と「撮りやすい」を両立させた  
横長フォルムの超小型・軽量APSカメラです。  
パールロゼカラーのボディにひそむ、  
繊細な美しい描写力。  
どこへでも連れていって、  
感じるままに、*i*してください。

誕生



●28~75mm・2.7倍ズーム●生活防水  
●マルチバッシュAF●2.5秒・クイックチャージフラッシュ

アイズーム75  
**i ZOOM 75**

標準価格(税別) 50,000円 (リモコン・ケース・ストラップ付)

**PENTAX**

645N用交換レンズ

待望の新設計レンズ3本、新登場。



SMCペンタックスFA645 200mm F4 [IF]  
希望小売価格(税別)95,000円(ケース・フード付)

SMCペンタックスFA645マクロ120mm F4  
希望小売価格(税別)135,000円(ケース・フード付)

SMCペンタックスFA645ズーム80~160mm F4.5  
希望小売価格(税別)195,000円(ケース・フード付)

AFスーパーフィールドカメラ

**645N**



グッド・デザイン選定商品

カメラグランプリ'98/EISA/TIPA受賞

ボディ希望小売価格(税別) 300,000円  
FA645 75mm F2.8 希望小売価格(税別) 60,000円

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1ペンタックス販売(株) インターネットホームページhttp://www.pentax.co.jp/

中判は  
ペンタックス  
645N&67



田代高原 初夏を思わせる陽気。時折、  
強風が花を揺る。  
■カメラ:キヤノンEOS-1NHS レンズ:  
17-35mm 絞り:AE シャッタース  
ピード:1/4秒 フィルム:RVP



八甲田ブナ林 小雨に濡れた若葉が心を和  
ませてくれる。  
■カメラ:キヤノンEOS-1N レンズ:70-  
200mm 絞り:18 AE フィルム:RVP

ぶらり  
わが街

【青森県黒石市】 青森県黒石市  
大平光徳さん



奥入瀬渓流 花の瀬 ヤシオの下か  
ら心地よい雑音が聞こえてくる。  
■カメラ:キヤノンEOS-1N  
HS レンズ:17-35mm 絞り:18  
AE+2/3 フィルム:RVP

写真に興味としての方々に、地元の名所や  
撮影ポイントを紹介していただいているこの  
コーナー。今回はプロ好みの感性を持つてお  
られ、キタムラ主催の全国春の花、秋の彩フ  
ォトコンテストにそれぞれ準特選で入賞され  
ている青森県黒石市の大平光徳さんにご登場  
いただきました(カメラのキタムラ弘前・高田  
店 川原幸樹)。  
私の住んでいる黒石市は東に八甲田山や十  
和田湖、西に桜の城下町で名を馳せている弘  
前市(私の職場が市内に)があって、周辺は四  
季の変化に富み、地形的に写真の対象となる  
景色も豊富にあります。藩制時代からの「こみせ(雪  
よけ木造アーケード)」の街並み、そして郷土色豊か  
な「ぬるゆこけし」、加えて青森のねぶたや弘前のね  
ぶたよりも祭りとしてはちよつと小ぶりですが、精巧  
な細工のねぶた百台近くが一堂に出陣する「黒石ねぶ  
た」は圧巻、また、日本三代流し踊りのひとつ「黒石  
よされ」もまた魅力的です。加えてりんごとお米のお  
いしい土地柄です。私の  
ストックに観光的な写真  
はほとんどありません。  
紹介できる写真も風景に  
終始します。ちなみに撮  
影は「朝方の自然な風景」  
に専念しています。

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスの  
マルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●  
逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション  
性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCL 分光透過率 ●高精度7ゾーンバッシュ方式マルチ  
チオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプル  
で明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード:  
フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オート  
フラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF (LV6以上中央重点測光)モード ●スナップ  
モード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

(ボディカラー:ブラック/シルバー)  
**GR1s** ●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)  
GR1s ..... ¥95,000(税別)  
GR1s DATE ..... ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。

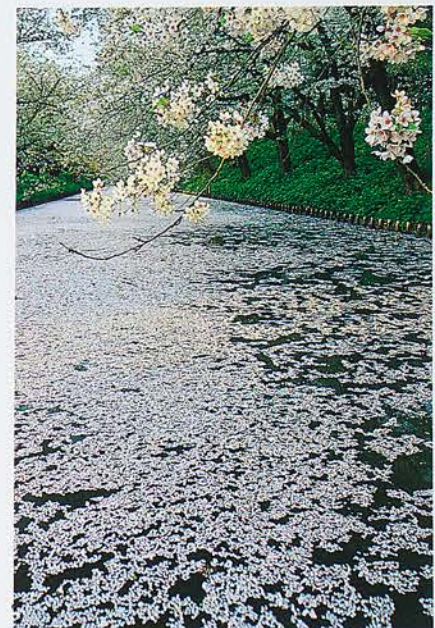
〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部  
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00  
FreeDial ●土曜・日曜・祝日はお休ませていただきます。



高沼 春うららかな水面は緑を  
映す。  
■カメラ:ペンタックス  
645N レンズ:55mm 絞  
り:f13 AE+2/3 フィル  
ム:RVP



大平光徳さん  
「写歴は高校、専門学校(写  
真以外の)時代、以降、中  
断して娘が誕生して再燃、  
トータルで7~8年」との  
こと。キタムラのフォトコ  
ンだけでなく、雑誌などの  
月例にも常に入賞している  
実力者。



弘前城 ハラハラと散った桜が見事な花筏を作る。  
■カメラ:キヤノンEOS-1NHS レンズ:17-35mm  
絞り:f16 AE+2/3 フィルム:RVP

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・紅葉の部 <4名>



「秋映えの水面」 小林 泉 (北海道函館市)  
 「散りて華やく」 広田和夫 (山口県宇部市)  
 「過ぎゆく秋」 宮崎啓一 (福岡県福岡市)  
 「霜月の詩」 緒方昭夫 (熊本県熊本市)

リバーサルプリント・一般の部 <4名>



「雨がやんで」 鈴木康雄 (秋田県仙北市)  
 「イルミネーション」 早福美保 (新潟県新潟市)  
 「凍てつく朝」 梅原志光 (愛媛県松山市)  
 「枯落」 大平光徳 (青森県黒石市)

ネガカラープリント・紅葉の部 <4名>



「凍える桜」 佐藤弘一 (千葉県習志野市)  
 「秋景」 田中富美穂 (熊本県八代市)  
 「秋」 田中治広 (熊本県下益城郡)

ネガカラープリント・一般の部 <4名>



「ナナカマドの美る頃」 客野宣雄 (北海道名寄市)  
 「秋風の舞」 大鴻勝美 (東京都豊島区)  
 「嵐の跡」 鳥邑 博 (福井県福井市)  
 「秋桜」 黒瀬博恭 (熊本県熊本市)

審査員特別賞 全部門共通 賞金3万円と楯 <10名>



「紅葉の頃」 福田明広 (北海道河東郡)  
 「秋」 佐々木 洋 (北海道苫小牧市)  
 「フォール」 小林照雄 (新潟県加茂市)  
 「雪の華」 菅野勝人 (福島県郡山市)  
 「みつめていたい」 今井秀幸 (大阪府堺市)  
 「紅葉の頃」 福田明広 (北海道河東郡)  
 「深秋」 難波幹治 (岡山県岡山市)  
 「流れ」 伊藤ふみ子 (佐賀県唐津市)  
 「収穫の日」 草野政盛 (熊本県鹿本郡)  
 「秋彩」 堀川 宏 (熊本県菊池郡)

入選 賞金1万円と楯

リバーサルプリント 紅葉の部 <40名>

- 北海道 五十嵐 丈人(札幌市)「深山錦」
- 佐々木 一雄(帯広市)「昇雲」
- 青森県 三上 強(青森市)「五色求心」
- 山形県 佐々木 吉治(酒田市)「鶴岡池寸光」
- 佐藤 潔(天童市)「晩秋の湖畔」
- 福島県 清野文彦(福島市)「燃ゆる渓谷」
- 神村たかし(会津若松市)「深山の紅葉」
- 新潟県 八木沢 政二(新潟市)「落葉」
- 石川県 大橋吉郎(金沢市)「晩秋の称名」
- 群馬県 松本耕司(太田市)「秋景」
- 長島利雄(太田市)「夕照」
- 正田孝夫(新田郡)「無題」
- 長野県 盛 社司(長野市)「秋彩の光」
- 角南俊文(松本市)「散る」
- 千葉県 小磯文雄(木更津市)「落葉」
- 埼玉県 岡部 孝(鶴ヶ島市)「立又溪谷」
- 佐藤憲二(本庄市)「流葉②」
- 東京都 長谷川 勉(狛江市)「秋陽」
- 静岡県 落合正和(清水市)「秋の色」
- 愛知県 角田昭嗣(名古屋)「秋色(あきいろ)」
- 群柳 栄(岡崎市)「溪流の秋」
- 松本 仁(岡崎市)「恵光」
- 日比野 義孝(春日井市)「俄雨」
- 滋賀県 岡田 進(栗太郡)「朝霧に煙る」
- 奈良県 世古 俊太郎(奈良市)「鹿の舞」

ネガカラープリント 紅葉の部 <20名>

- 北海道 加藤秀明(苫小牧市)「山頂の彩」
- 青森県 地名一二三(青森市)「落葉」
- 山形県 佐藤忠昭(鶴岡市)「水面流るる」
- 福島県 斎藤竹男(福島市)「秋の桶沼」
- 茨城県 関 俊輔(日立市)「彩景」
- 群馬県 谷島 孝(前橋市)「秋景の寒桜」
- 埼玉県 鎌田義行(川崎市)「昼下り」
- 東京都 小澤 章(大田区)「雨の日フナの木」
- 神奈川県 増田 薫(横浜市)「晩秋と滝」
- 高橋元哉(横浜市)「秋の草花」
- 山梨県 高橋一郎(甲府市)「旬の彩」
- 静岡県 鈴木信子(周智郡)「紅一点」
- 山口県 田中正司(萩市)「晩秋の朝」
- 大阪府 内藤節子(西条市)「霜彩」
- 岡山県 薬師浦 孝治(香川県)「秋風」
- 福岡県 中原直樹(柳川市)「棚田のひがん花」
- 吉原昭信(大野城市)「秋模様」
- 毛利高就(田川郡)「幻想の秋気」
- 長崎県 永野 弘(南高来郡)「登校日」
- 大分県 武内 誠(田田市)「彼岸花」
- 熊本県 木村敏弘(別府市)「棚田模様」
- 熊本県 西 信二(熊本市)「惜秋」

リバーサルプリント 一般の部 <40名>

- 秋田県 畠山陽一(秋田市)「秋・憧憬」
- 五十嵐 清光(平鹿郡)「きのご祥生」
- 山形県 三浦静明(天童市)「実りの秋」
- 新潟県 江部 勇(新潟市)「キンモクセイ」
- 内山義昭(新潟市)「実りの秋」
- 高橋ノリユキ(豊栄市)「初秋の朝」
- 中澤 勝(柏崎市)「黎明」
- 早川欣弥(西蒲原郡)「フナ林の秋日差し」
- 群馬県 下山謙夫(桐生市)「森の小人達」
- 埼玉県 鹿島秀夫(浦和市)「秋の女」
- 堀川 勉(深谷市)「日輪」

ネガカラープリント 紅葉の部 <20名>

- 北海道 小林幸市(函館市)「晩秋のえそ富士」
- 東京都 能登正俊(府中市)「収穫」
- 神奈川県 寺川 仁(平塚市)「落陽」
- 愛知県 スズキ ヒデヒロ(大府市)「祭りの群集」
- 京都府 荒井俊明(福知山市)「雨上り」
- 三重県 和田 勉(四日市市)「彼岸花」
- 鈴木 宝王(三重郡)「彼岸花と雲」
- 阪岡弘虫(鈴鹿市)「COSMOS(宇宙)」
- 藤村郷雄(鈴鹿市)「山村の秋」
- 大阪府 原田和洋(泉南市)「串柿」
- 藤井宏章(堺市)「秋めく彩」
- 武井貞幸(河内長野市)「串柿の番犬」
- 兵庫県 鈴木信子(明石市)「旅立ち」
- 岡山県 石井幸子(岡山市)「霧の朝」
- 水島次男(津山市)「夜霧」
- 鳥取県 後本光英(鳥取市)「秋景」
- 愛媛県 日野 尚(伊予郡)「めざめ」
- 佐野明衛(川之江市)「きらり!!」
- 香川県 川上弘子(高松市)「秋から冬への誘い」
- 福岡県 河上元和(福岡市)「男と女」

ネガカラープリント 一般の部 <20名>

- 北海道 加藤秀明(苫小牧市)「山頂の彩」
- 青森県 地名一二三(青森市)「落葉」
- 山形県 佐藤忠昭(鶴岡市)「水面流るる」
- 福島県 斎藤竹男(福島市)「秋の桶沼」
- 茨城県 関 俊輔(日立市)「彩景」
- 群馬県 谷島 孝(前橋市)「秋景の寒桜」
- 埼玉県 鎌田義行(川崎市)「昼下り」
- 東京都 小澤 章(大田区)「雨の日フナの木」
- 神奈川県 増田 薫(横浜市)「晩秋と滝」
- 高橋元哉(横浜市)「秋の草花」
- 山梨県 高橋一郎(甲府市)「旬の彩」
- 静岡県 鈴木信子(周智郡)「紅一点」
- 山口県 田中正司(萩市)「晩秋の朝」
- 大阪府 内藤節子(西条市)「霜彩」
- 岡山県 薬師浦 孝治(香川県)「秋風」
- 福岡県 中原直樹(柳川市)「棚田のひがん花」
- 吉原昭信(大野城市)「秋模様」
- 毛利高就(田川郡)「幻想の秋気」
- 長崎県 永野 弘(南高来郡)「登校日」
- 大分県 武内 誠(田田市)「彼岸花」
- 熊本県 木村敏弘(別府市)「棚田模様」
- 熊本県 西 信二(熊本市)「惜秋」

第7回 全国 秋の彩 フォトコンテスト

入賞作品発表!

応募総数 約13,000点

第7回「全国秋の彩フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約13,000点の応募総数の中から見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。

総評：今年は紅葉そのものの色あいが悪かったので、思うように撮れなかったのではないかと思います。秋の彩には霜や枯れ草、落ち葉もあるわけで、秋の空気感や温度感を、もっと多様な目で捕らえてほしいと思います。応募作品のレベルは全体的に向上しており、緊張感あふれる選考になりました。気になったのは、ネガカラープリントで、印画紙サイズにプリントされているために左右がトリミングされていて、35mmの緊張感が失われている作品が多く見られました。また、作品タイトルにも、もう少し工夫があった方がよかったです。上位入賞作品につきましては、ネガカラー、リバーサルの両方の特色が美しく表現されています。来年も頑張ってください。

主催：カメラのキタムラ  
 協賛：富士写真フイルム株式会社  
 キヤノン販売(株)、ミノルタカメラ販売(株)、ニコンカメラ販売(株)、ペンタックス販売(株)、オリンパス販売(株)、京セラ(株)、(株)リコー、(株)シグマ、(株)タムロン、トキナー光学(株)

審査員 竹内敏信氏  
 1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。愛知興行勤務を経てフリーとなり、風景写真の第一人者として活躍。主な写真集：「天地光輝」(講談社)、「歌謡巴」(小学館)、「花祭」(成文堂新光社)、「光と風のヨーロッパ」(玄光社)、「写真・山頭火」(春陽堂)、「櫻」(天地閣)、「山櫻」(以上出版芸術社)、「竹内敏信集」(新日本企画)、「天地風韻」(日本芸術出版社)など。著書・ビデオ・CD-ROMも多数出版。



グランプリ 全部門共通 賞金30万円と楯 <1名>

「風さわぐ」 塚本潤一 (岩手県岩手郡)

寸評：美しい質感を持った画面でありながら、秋風が吹いて紅葉の葉が大きく揺れている光景が浮かび上がってきます。その揺れ具合がとても面白く、また全体的に色調も美しく、紅葉グランプリにふさわしい作品だと思います。

つかもと じゅんいち/1948年熊本県生まれ。20年来、ニワトリを中心にペットの写真を多く撮り続けてきたが、現在は岩手県の小岩井農場に近接する、自然環境に恵まれた場所に住んでいることから、風景写真も撮っている。第5回全国秋の彩フォトコンテストで準特選を受賞。今後も岩手県の恵まれた自然環境を、写真を通じてアピールしてゆきたい。

特選 賞金20万円と楯

リバーサルプリント・紅葉の部 <2名>



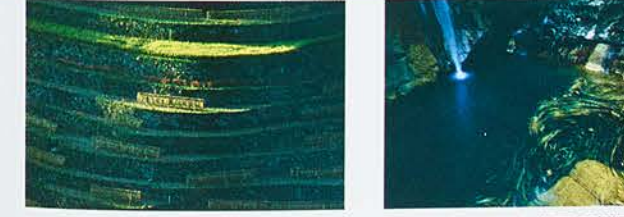
「紅樹」横田康治(高知県高知市)  
 「滝の紅葉」八巻新一(北海道上川郡)

ネガカラープリント・紅葉の部 <2名>



「落ち葉の中で」 久松秀則(北海道山越郡)  
 「秋彩の林」 城所 實(埼玉県入間郡)

リバーサルプリント・一般の部 <2名>



「秋光の棚田」 百崎礼治(福岡県福岡市)  
 「秋彩」藤村信彦(福岡県福岡市)

ネガカラープリント・一般の部 <2名>



「つるし柿」 佐藤信一(長野県下伊那郡)  
 「朝景」青木竹二郎(奈良県奈良市)

# レンズ特集 I

— 自分のイメージに適した焦点距離を選ぼう —

下の2枚の写真は、同じ露光量でF値を変えてあります。ともに28mmレンズ。上：F4、下：F22で撮影。



写真には画面構成、シャッターチャンス、表情、バックの情景などが絡んで、表現方法もさまざまな要素が加わりますが、「これは」と思う情景や被写体は自分の眼で探し確認します。それを具体的に写真としてとらえるのがレンズでしょう。いかなればレンズは撮影者にとって「第二の眼」になります。その第二の眼は一眼レフでは交換レンズの形でいろいろと選択が可能です。自分の合ったイメージで撮影するにはそれに適したレンズを選ぶことが大切です。この保存版はレンズ特集として、35mmレンズを主体に2回に分けて掲載します。今回は「レンズ」とはどういうものなのか、被写体によってどのようなレンズを使用すれば効果的なのかを探ってみましょう。そして次回は各メーカーのレンズを具体的に紹介します。

## 個人感覚が大きく左右する レンズの判断

また、レンズを見極める場合、生活環境や個人の感覚によっても変わってきますので、一概にこのレンズは「良い」とか「悪い」と判断できにくい面もあります。

例えば、ヨーロッパの一般家庭ではほとんどがタングステンライトを使用しているのに対し、日本では蛍光灯が多用されていますから、光に対する感覚が異なっており、これがそのまま、色の感覚の違いになっていきます。具体的にヨーロッパではアンバー系の琥珀色（透過通った黄色）が好まれ、日本では原色のな色に偏りがちです。この結果、レンズも製造している国の状況に左右されることになってきます。

もちろん太陽の色温度はどこでも同じですから、自然光にいかに対応したレンズを作るかは共通のテーマといえますが、



## OUR WORLD

目を凝らせば、路傍にも美は存在しているのだ。大垂水峠田道にて。

三宅修/1932年東京生まれ。東京外語大学卒業後、雑誌編集責任者を経て、1964年フリーの山岳写真家となる。日本山岳写真家の創立に参加、13年間代表を務める。植物、昆虫、動物などにも撮影領域を広げている。

撮影データ：シグマ MACRO 50mm F2.8 EX、F4、1/8秒

三宅修が世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

高尾山、雨。田道の脇にヨゴレネコノメソウが咲いていた。春の夕刻、柔らかな光に浮かぶ小さな生命をシグマで狙った。フローティング機構採用で無限遠から等倍撮影まで高い描写力を実現したマクロレンズ。自然なボケ味で、質感・立体感の描写に優れた性能を発揮。PLフィルターの使用も容易、しかも焦点深度の深いF45の絞りも装備（ニコン、ペンタックス用はF32）。



●希望小売価格(税別):  
35,000円、フード付

軽量でコンパクト、オールマイティな実力を持つ標準兼用マクロ。

## SIGMA Macro 50mm F2.8 EX

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都江山市戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

# レンズ特集 I

黒い瞳、青い瞳の人種によっても微妙に色に対する感覚は違うようです。このように国、人種、環境などのほか、個人によつて色の感覚が違いますから、レンズの性能を同一線上で比較することはナンセンスといわれかねません。

## 解像力だけが判断材料ではない

とはいえ、色を除いたそのほかの要素、解像力、ボケ味、ピントのシャープさなどでの比較は可能になってきます。しかし、これも一般撮影用のレンズを比較する上で、一概に優劣を決める材料にはならないのです。解像力を徹底的に求めたレンズで、景色撮影しても風味というか、スパイスが効いていない写真となり、まして人物ではまろやかさもなくつまらない写真になってしまうそうです。解像力だけを求めるのであれば、工業用として使われている例えば、マイクロチップを製造するための、ただハッキリ見えさえすればよいレンズもあるわけで、一般撮影用レンズとしては、解像力だけを求めたレンズというものは不的確な気がします。

厳密にいい写真を撮ろうとするならば、光源の波長に合わせたレンズを使用するのが理想的ですが、一般用では現実的に不可能な話です。この結果、様々なシーンでの撮影を想定して総合的な判断のもとに製造されたレンズがカメラマンには要求されてきます。

こうした事情から撮影用のレンズを選べば、フィルムとの関連によってレンズ性能が異なってくるケースも考えられるわけで、レンズは単純に割り切れない要素が多くあります。

加えれば、フィルムとの関連によってレンズ性能が異なってくるケースも考えられるわけで、レンズは単純に割り切れない要素が多くあります。

このように記してきますと、高額なレンズでも質の悪いものがあるのではないかと、思われるかもしれませんが、昨今ではやはり、技術が発達して、高額レンズはそれなりに落ち着きのある描写のできるものがほとんどです。

まだ日本がカメラを粗製濫造していた時代に、仕上がった写真のコントラストが強いと「ピントがピンッ」ときているから「レンズが良い」と一般に思われていたものですが、ちょっと伸ばしてみると、急激にピントがあまくなつて写真にはならなかった事例があります。これに対して、ドイツ製のレンズは、軟調ながら伸ばしてみても、ピントがいつまでも落ちなかつたそうです。現在、日本のレンズでこうした例はまったくないと言っても過言ではありませんが、このような歴史的背景から「ドイツのレンズは良い」との、神話が生まれてきたこともうなずけます。

ぶ場合、何もかもノーマルなレンズを選ばず、何かひとつの手段といえますが、逆に写真に変化をつける因子のようなものが含まれている特徴あるレンズ選びをすることも自分なりの撮影領域を拡げたり、独特の撮影方法を作ることにも可能といえるでしょう。

## レンズ構成枚数が多いほど再現性を阻害

一眼レフ用の交換レンズにしても、レンズ構成枚数が多いほど性能が良いとは限らないのです。逆にレンズの枚数が多いと性能が落ちる要因もあるのです。物理的に考えても光がレンズを通るたびに何らかの影響を受けますから、カラー再現性の阻害要因になったりもします。単純には一枚のレンズで撮影するのが理想であるという技術者もいます。そうなること、が、やはり、そこにはレンズの難しさがあって、レンズの枚数を増やしてその組み合わせで色収差を補正できるなど単純にいいのが実態です。

さらにレンズ表面に薄幕を施し、反射光を除去するコーティングにして

## 各社同レベルになってきた解像力とピント

現在ではレンズの製造にコンピュータが使われるようになって、ピントと解像力はかなり計算で解決される点が多いことで、「ピ

このメーカーのものも同じレベルに達している」といわれるようになっていいますが、そのほかの部分についてはメーカーの姿勢、設計者の意図が問われるところが多分にあります。レンズによる描写性は個人の好みによって異なつてきますが、メーカーの伝統やプロソフィを知って、自分にあったレンズ選択がますます増幅されてきたともいえるでしょう。

以上のようにレンズの性能評価は一概に語ることはできませんが、いくつかを列挙してみます。

## 一、画像が立体的であること

人間は両眼で物をとらえているのに対してレンズは単眼です。これは言い換えますと二次元の世界を二次元に置き換えていることに



50mm



絞り込んでローアングルや斜めから撮影すると描写に広がりが出て広角効果が発揮でき、逆に絞りを開けて背景をぼかして人物を浮き立たせれば望遠効果が出ます。



35mm



適度の広がりや遠近感によって、スナップ撮影にも強く、景色も自然さがあって、標準レンズとして使用しているケースがもっとも多いレンズです。



28mm



被写体に近づくほど、近くを大きく、遠くを小さく撮影できます。パンフォーカス(近くから遠くまで焦点が合っている)も簡単です。



16mm



画角も100°を超えて人間の眼では判断できない視野を持っており、被写界深度も深く、パースペクティブを拡張した独特の撮影ができます。また、このクラスの宿命として逆光や光の入り方でフレアやゴーストが出やすい傾向にあります。

## レンズを理解するための用語

### ●焦点距離

無限遠にピントを合わせた時のレンズからピント面をいいますが、レンズに表示されている28mm、50mm、85、105mmの数字値がレンズの焦点距離を表しています。50mmを基点にして数値が短いものほど広角になり、逆に多くなれば望遠になります。

一般的に20mm以下が超広角、24、35mmが広角、50mm前後が標準、85mm、105mm中望遠、135、300mm望遠、400mm以上を超望遠と表示されていますが、明確な定義はありません。このためメーカーによって多少の前後があります。

ズームレンズは28、50mm、70、200mmと表示されています。この焦点距離によって広角系ズーム、標準系ズーム、望遠系ズームと一応区分けされていますが、これも定義はありません。

### ●F値(口径比と同じ)

レンズの開放時の明るさと絞り値を表示しています。一般的に数値が低くなれば明るいレンズとなります。1、1.4、2、2.8、4、5.6と表示されていますが、この1絞りの違いは数値が一段大きくなると明るさは半分になります。例えばF2.8はF2の半分の明るさになるということです。レンズ1絞りの違いで撮れる範囲が大きく異なる理由となっています。

ズームレンズでは焦点距離70、200mmの後にF4、5.6と表示されているのは、レンズ開放時の明るさが焦点距離によって変化することを表しています。通常、焦点距離が短い側が明るく、70mmではF4で200mmではF5.6になっています。

### ●収差

レンズの収差には代表的なものとして色収差、球面収差、コマ収差、非点収差、像面湾曲収差、歪曲収差があります。これらのほとんどは撮影した像に悪影響を与えます。この収差を取り除くためにレンズの枚数を増やしたり、レンズ表面にコーティングを施したり、異常分散レンズや非球面レンズを使用したりして収差を減少させています。しかし、これらの収差は完全に取り除くことは難しいとされています。

### ●周辺光量不足

写真になった時に、四隅が黒ずんでいるケースがありますが、こうした場合に周辺光量が落ちていたり表現します。ひと昔前まで、ズームレンズではこの光量落ちがしばしば見られましたが、最近はかなり少なくなっています。

### ●非球面レンズ(アスフェリカルと同じ)

レンズの表面は球面(レンズによって片側が平面もある)が一般的ですが、この球面によって誤差が生じ、例えば光が1点に集まらないために像がボケてしまします。これらを修正するために開発されたレンズです。最近のレンズにはこの非球面がよく使われるようになっています。

# レンズ特集 I

なります。このために写真が平面的であるのは止むを得ない面があります。しかし、描写力の優れているレンズは質感や情景を的確に表現しますので、立体感があります。これはある程度、撮影テクニックでカバーされますが、根本的なレンズが質感やシズル感を出せないようでは、カメラマンの力量ではカバーできない部分があります。

## 一・解像力プラス解像力の再現性に優れていること

解像力(保存版最終ページ解像力の項目参照)は被写体を表現する上で大きなポイントになり、特に重視する人がおられますが、解像力ばかりを追い求めていたのでは、荒々しい立体感となり、固い写真になる傾向があります。最近のレンズの解像力は各社均衡してきていますので、レンズ選びではむしろ階調(トーン)の再現性を重視する方がベターといえるかも知れません。階調性が豊かなレンズはポートレートでは人の肌や影になった部分を滑らかに表現してくれます。また、景色などで霧や朝もやを自然に描写してくれます。

## 一・適度なコントラストを持つていること

解像力とは異質なもので、単純にコントラストが高ければ良いというものではありません。しかし弱いとメリハリのない写真になりがちです。階調とも微妙に絡んできますが、ハイライトの部分とシ

## 一・特殊な使い方をする時に不都合がないこと

レンズ性能そのものとはあまり関連はありませんが、接写リングやペローズを使用する時にピントの位置関係や撮影倍率・距離が計算できるレンズが有利といえます。

## レンズの種類と応用

### ●レンズの画角

レンズの焦点距離(保存版最終ページ焦点距離の項目参照)によって画角が異なります。被写体を前にしてもっとも重要なことは自分の持っているイメージを表現するのに適した焦点距離のレンズを選ぶことでしょう。それには焦点距離が代わるとどのように変化するかを先にとらえておく必要があります。焦点距離が短いほど画角が広くなって遠近感が強くなり、長いほど画角が狭くなって遠近感がなくなり、遠くのもの大きくとらえることができます。



135mm



望遠効果も強くなってきますが、商品の撮影には遠近感が適しているようで、盆栽や生け花などによく使われています。



105mm



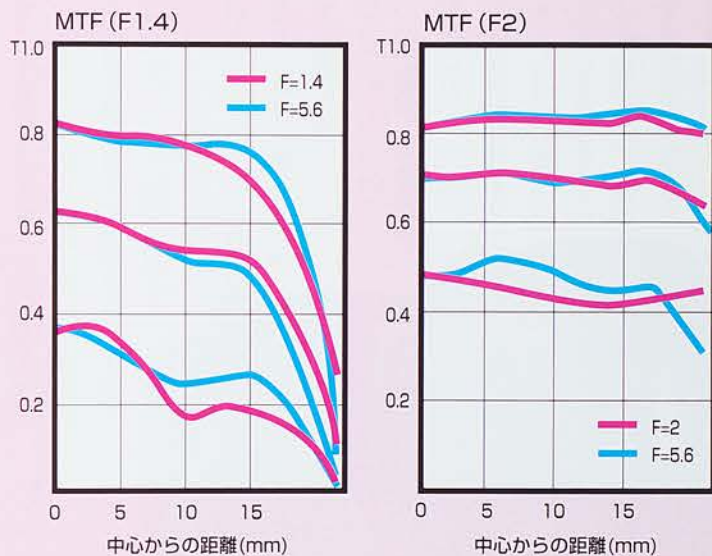
やはりポートレートレンズと呼ばれる部類にあって、ボケ味をもっとも柔らかいと語るブクカメラマンもいます。



85mm



傾向としてこのクラスはボケ味がきれいで、焦点距離は標準の2倍前後になりますが、遠近感も適度にあって人物撮影に適したレンズです。ソフト効果を活かすのもこのクラスに多くあります。



### ●MTF曲線

解像力に代わってレンズの描写力を表現しています。様々な要素が複雑に絡みまますので、これを公開していないメーカーもありますが、収差だけでは表現できなかったレンズの結像能力を数値として表したものと考えるとよいでしょう。縦横の描写、中心部と周辺部の描写などを曲線として表しています。

見方としては、実線と点線は縦と横の描写力を表していることからグラフ上でこの2本線が近いと良い、上に位置していると良い、平行に推移していると中心部と周辺部との描写力が等しいから良い、といったことが挙げられます。しかし、このMTF曲線でかなりのレンズ性能を表していますが、単純にこの曲線だけで総合的に描写力が優れているといえない面もあるようですから、ひとつの目安としてください。

## レンズを理解するための用語

### ●特殊(異常)低分散レンズ

一般の屈折とは異なったガラスを使用したレンズで、色のニジミ(収差を減少させます。特に大口径望遠レンズでは収差が大きくなりますので、このレンズを使用する望遠レンズが増えています。

メーカーの呼び名が異なり、カタログなどで分散レンズを使用している場合、オリンパス・ニコン・ペンタックスがED、キヤノンUD、ミノルタAD、シグマ・タムロンがDL、トキナISDの略称が記されています。

### ●解像力

被写体の細かい部分をどれだけ描写できるかを現したものです。写真の始まりはまず物体を正確にとらえることでしたから、これを追うことはレンズの歴史をみることに成り、それだけ各メーカーも課題としてきました。しかし、それもひと昔前の話で設計・製造技術が発達した現代では、どのレンズもほぼ同じ解像力を持つようになっていきました。人間の眼以上の解像力を持つても、意味が薄いとされる傾向にあって必ずしも解像力の高いレンズが描写力に優れているとはいえなくなっています。

### ●画角

焦点距離が小さくなるほど広がり広範囲にとらえられ、逆に大きくなるほど狭くなった遠くのもの大きく撮影でき

るようになります。

### ●ボケ味

ピントの合っていない部分のボケ具合を指しています。レンズによってこのボケ方が異なってきます。多分に主観的要素が入りますので「一概に「良い」「悪い」の判断は下せませんが、写真は立体的な物体を平面に写し換えるのですから、ピントのあっていないボケ方もレンズ性能を見極める重要な要素となつてきます。

### ●レンズ構成

レンズに○群○枚と表示されています。トリプレット・タイプといって3群3枚の構成は各収差がよく補正され、コンパクトカメラによく使用されていますが、レンズに広角・望遠の機能を発揮させようとした場合にはトリプレットでは無理があつて、12群15枚といったようなレンズもあるほか、ズームレンズではさらに多くなります。

### ●パースペクティブ(遠近感)

遠い所と近い所との距離のへたたり感をいいます。マラソンをテレビでみていた場合、1位と2位との距離が実際には10m以上あるのに、ほぼ並んで走っているような画面がしばしばありますが、これは望遠レンズで撮影しているために、遠近感がなくなっているためです。逆に広角レンズで撮影するとこの遠近感が極端に出ています。50mmレンズの標準ではこの遠近感が自然に感じます。



# レンズ特集 I

人物では鼻が大きくなるなど不自然な描写になります。もっとも、こうした効果を狙って撮影する場合も多々あります。広角は近づき過ぎない限りそうした不自然さも解消されますので、応用範囲の広いレンズといえます。

## ●標準レンズ

人間の眼に近い焦点距離で、自然な感覚で撮影できる万能レンズといえます。見たままの距離感ですから、遠近感も自然に描写されます。アングルの選び方や絞りの操作で広角レンズや望遠レンズの効果を作ることも可能です。一般的に各メーカーの標準レンズは開放のF値が明るく、室内や暗い場所でも速いシャッターを切ることもでき、応用範囲がもっとも幅広く使えるレンズといえます。

この標準レンズで広角や望遠効果を発揮できるようにすれば、腕が一段も二段もアップするといわれています。つまり、ほかのレンズをより効果的に使えるようになり、迫力ある写真や立体的な写真が得られ易くなるようです。いわば、写真の原点に位置するレンズといえます。

## ●望遠・超望遠レンズ

このレンズの特徴はなんといっても、遠くの被写体を引き寄せて写せることでしょう。100mm前後を中望遠、135mm 300mmクラスを望遠、400mm以上が超望遠と区分けされていますが、やはり定義といったものはありませんが、数値が大きくなるほど遠近感が圧縮され、被写

界深度も浅くなります。こうした効果を活かして、人物ではバックをぼかしたり、風景では遠近感のない利点で積み重なったような表現がよくなされています。

中望遠はポートレートレンズといわれるほど、人物撮影では定番レンズです。遠近感の圧縮もそれほどなく、手持ちで撮影できますからスナップにも有効です。余談になりますが、メーカーはこのクラスのレンズが一番造りやすく、様々な収差をクリアできることで、全般的に良いレンズが揃っているといわれています。

135mm 300mmは望遠効果が実感でき、狙った被写体を浮き立たせるのに効果的で望遠レンズの代表選手の位置にあります。スポーツ、ステージ、報道などに多く使われています。

400mm以上は肉眼でとらえにくい距離にある被写体や近づくと逃げられてしまう鳥や動物写真に有効です。この超望遠の世界に入ると迫力があって、シャッターを押すたびに気分を味わうこともできます。但し、おもしろさが優先されて、つい多用するケースがあつてつまらない被写体を撮りがちになります。135mm以上は三脚を使用することで手ブレを防ぎ、撮影領域を広げます。

16mmから300mmのレンズとその比較写真は、株ニコンにご協力いただきました。



300mm

このクラスも最近は開放値の明るいレンズが多くなり、室内スポーツ、舞台など動きがあったり、薄暗い景色も撮影できるようになってきました。



200mm



見慣れた視角から離れた際立った望遠効果が得られ、景色の圧縮効果、被写体の引き寄せ効果、部分的に切る取る効果をフルに駆使できます。

# 新連載 全国写真クラブ紹介

今回より新たに全国の写真クラブをご紹介させていただくコーナーを設けました。日本には様々な写真クラブがありますが、写真を愛する者の気持ちは一つです。あるいは皆様のすぐそばのクラブが登場するかもしれません。ご期待ください。

## ふおとくらぶ どんぐり



- 設立 1979年3月3日
- 会員数 15名(代表・塚本静子)
- 活動 毎月第一木曜日
- 場所 長野県松本市



私達のクラブは、女性は代表の私一人で、他は全員男性です。技術を追求するのではなく自分の写真を楽しむという会です。月一回例会を開いています。例会ではお互いの写真を持ち合い、苦労話やエピソードに耳を傾け、また年に何回か撮影旅行に行き、地元の人達と交流して、いろいろ楽しんで来ます。時には一泊二日のご褒美をすることもありますが(男性陣は私を女性と認めていない為)。

夜、突然やってきて、「これから京都へ行く」と驚かされ、「化粧なんかいつも見ている顔だからいい」と言われ、京都を二日間スピンで行ったこともありました。

他に年に一回「自己満足展」を行っています。人はどうあれ、自分の気に入った作品を出し、自己満足しています。わきあいの楽しいクラブです。

## フォトクラブ 古志原



- 設立 1984年5月
- 会員数 30名(代表・大成清美)
- 活動 月1回の定例会と年4~5回の撮影会
- 場所 島根県松江市

1984年5月に、古志原写真教室という名称で、公民館活動の一環として発足したサークルです。

月に一度の例会、年4~5回の撮影会を15年続けてきたことで、始めた時は8名の会員が、今では30名となりました。フィルムの入れ方さえおぼつかない者がほとんどでしたが、今では地方コンテスト、市、県美術展、全国展のグランプリを受賞する者も現れました。とかく、受賞したり新聞に載ったりすると、天狗になったり孤立したりするものですが、私達のグループにはそれがまったくないのが特徴です。

古参の者は自分たちが失敗したこと、参考になったことを、こと細かく惜しげもなく新人に指導し、和気あいのうちに、互いの腕を磨いています。



それは、あなたの創造力がずっと待っていたカメラです。

映像と情報のワンダーランドへ  
**Canon**



ファインダーを覗くとき、誰もがもっともっと自由な発想でいられるように。  
オーバル形のエリアAFフレームに45もの測距点を高密度で配置した、新方式のAFを搭載。  
EOSは今、あなたの感動をそのまま大きく受け止める、新たな才能を身につけました。

●被写体捕捉能力を飛躍的に高めた、45点エリアAF ●45の測距点を視線で選ぶ。進化した視線入力 ●測距点对应の21分割評価測光をはじめ、8種の測光方式を搭載 ●ボディ単体・最高約4.3コマ/秒、PB-E2装着(別売)で最高約7コマ/秒の高速連写 ●ワイヤレス多灯ストロボ撮影も実現。先進のE-TTL自動調光システム(スピードライト550EX使用時)

EOS-3メーカー希望小売価格 EOS-3ボディ ¥185,000(税別)  
EF28-135mmF3.5-5.6 IS USM付き ¥263,000(税別)  
EF24-85mmF3.5-4.5 USM付き ¥243,000(税別)  
EF50mmF1.4 USM付き ¥240,500(税別)  
パワードライブプースターPB-E2 ¥60,000(税別)  
スピードライト550EX ¥50,000(税別)  
●お問い合わせは 〒108-8011東京都港区三田3-12-15東急三田ビル  
キヤノン販売株式会社「EOS-3係」または、カメラ相談センター  
TEL.(03)3455-9353までどうぞ。キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

新発売  
**Canon  
EOS  
3**

**世界初 45点エリアAF、EOS-3 誕生**



**カメラのキタムラ  
新規学卒社員 大募集!!**

カメラのキタムラでは、只今フレッシュで元気一杯の社員を大募集しております。  
写真を愛する方、カメラに詳しい方、やりがいのある職場をお探しの方、等々、とにかく一度、採用センターにご連絡ください。説明会など詳しいご案内を差し上げます。



■会社データ

創 業 1934年  
設 立 1943年5月  
資 本 金 15億6800万円  
売 上 金 1996年3月期 497億2300万円  
1997年3月期 633億1300万円  
1998年3月期 719億6700万円  
※対前年売上高伸び率：113%UP  
従業員数 4,191名：社員1,158名、パート3,033名(98年12月現在)

事業内容 ①カメラ及びフィルム、写真用品等、写真に関する商品の販売及びプリント現像サービス。ビデオカメラ、デジタルカメラ等、映像に関する商品の販売。  
②パソコン及びソフト、周辺機器の販売。  
③ビデオ、CDソフトのレンタル。TVゲーム、CD、書籍の販売。  
事 業 所 全国341営業所(98年12月現在)  
応募資格 大学・短大・専門学校卒業見込みの方(来年3月)

採用センター

新横浜 ☎ 0120-476-770  
大 阪 ☎ 0120-476-760  
福 岡 ☎ 0120-476-750

編集後記

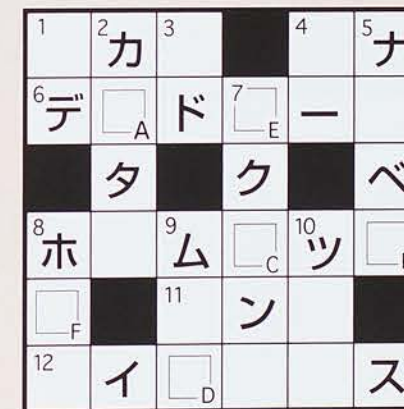
今年もまた「全国春の花フォトコンテスト」の応募が近づいてまいりました。三好和義先生も皆様の作品を楽しみにされておられますので、三好先生のアドバイスを参考に、ふるってご応募ください。キタムラの社員一同、皆様の熱意あふれる作品を心待ちにしております。

今回ご紹介させていただいたミノルタの新製品α-9はいかがでしたでしょうか。待望のプロ・ハイアマ向け35mm一眼レフの新製品です。誌面ではご紹介しきれない、優れた機能を数多く備え、特に「撮影者の気持ち」に立って作られたという、手に伝わる懐かしい重さ、握りやすさ、耳に伝わる心地よいシャッター音は、カメラを愛する皆様一人一人に、ぜひ一度キタムラ店頭で足を運ぶいただき、確かめていただきたいと思っております。

田中長徳先生の「カメラはライカ」は、名機として名高いM3の登場です。数多くのエピソードを持つM3を執筆していただくにあたって、田中先生には誌面の都合上でご苦労をおかけし、恐縮しております。M3はもとより、ライカのエピソードは何ページ誌面を割いても足りるということはありません。読者の皆様で、もっとライカを知りたいとお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひ田中先生の著書をご覧ください。

暖かい季節になってまいりました。カメラを片手に野山を散歩すれば、ファインダーの向こうに春が見えるはず。この春も、皆様のフォトライフにとりまして、実りの多い季節でありますことを、キタムラは願っております。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル



〈タテのカギ〉

- 1 地味の反対。
- 2 文房具のひとつ。○○○○ナイフ。
- 3 最近ほとんど水道に変わってしまいました。
- 4 英語で彼女=Sheが目的語になると?
- 5 「できるだけ~」という意味の言葉です。
- 7 リングの中で殴り合う格闘技。
- 8 満杯になる事を○○○状態と言います。
- 9 何も余計な事を考えていない状態。
- 10 軒先などから氷が垂れ下がったもの。

〈ヨコのカギ〉

- 1 物を壊す事。
- 4 「全国春の○○フォトコンテスト」実施中!
- 6 打者よりブツけた投手の方が痛い事も...
- 8 家が恋しくなる事。
- 11 ○○○万象とは、この世に存在する全てのもの。
- 12 ビールを飲むにはジョッキ。ワインを飲むには?

答え = ○○○○○○

ヒント：春になると顔を  
出します。

問 題：クロスワードに答えて、A~Fのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-4-1  
カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係  
締め切り：5月31日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.26) 解答とご当選者 解答：「フンカサイ」

真柄正幸(北海道)、黒木香(北海道)、齋藤光子(山形県)、大沼完一(新潟県)、佐藤齊(茨城県)、北條富司(群馬県)、小岩井大輔(埼玉県)、高杉信一郎(東京都)、柏木ゲーン(神奈川県)、江口澄夫(長野県)、高島滋(静岡県)、森治朗(石川県)、清下広喜(滋賀県)、樋口慶彦(京都府)、豊田法美(大阪府)、武村好郎(兵庫県)、影山光正(鳥取県)、長谷部敦子(島根県)、国行明(広島県)、御手洗沙織(山口県)、喜田昭男(香川県)、光井邦江(徳島県)、岡本美智仁(高知県)、寺田泰子(愛媛県)、大沢友梨香(愛媛県)、山下美樹(福岡県)、長久裕英(大分県)、森徳樹(熊本県)、野国昌秀(沖縄県) 敬称略

撮ったら、すぐカード。



21世紀インスタントカメラ誕生

**チェキ**  
CHEKI!

instax mini

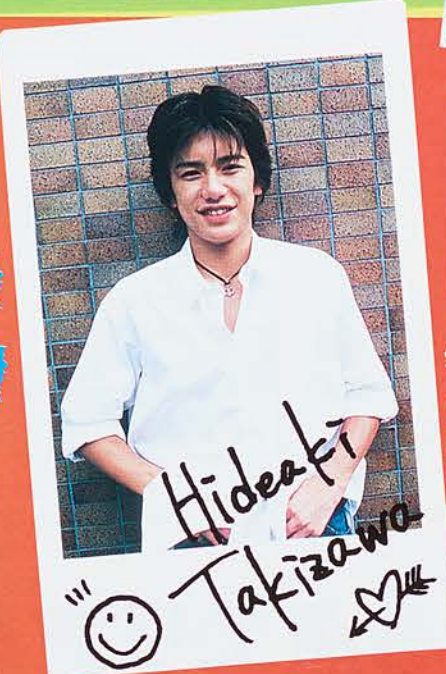


フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ  
メーカー希望小売価格 10,000円 (税別)

- カバンにすっぽりコンパクトボディ
- 写真入りにピッタリカードサイズ写真
- フィルムも安くチェキ!



インスタックスミニ フィルム  
1パック/10枚撮り 700円 (税別)  
2パック/10枚撮り×2 1,250円 (税別)



カードサイズ写真(順寸大)

